

様式第2号（第5条関係）

平成29年6月7日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦様

栗山町議会議員

千葉清己



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 平成29年5月22日～平成29年5月24日まで
- 2 旅行先 香川県高松市
- 3 目的 2017年度才2日自治体議員連合全国学習会
- 4 関係書類 別紙のとおり



政務活動報告

研修先：香川県高松市 JR ホテルクレメント高松、サンポートホール高松

研修日：2017年5月23日 13:30～18:00

5月24日 9:00～12:00

研修者：千葉 清己（外に34都道府県より66名の地方議員が参加）

内容：2017年度第2回自治体議員連合全国学習会

1日目 視察 香川県直島町

2日目 講演「少子高齢化社会における公共施設のあり方」

講師 三野 靖 高松大学法学部教授

直島町は人口3,000人の瀬戸内海の町で、芸術を通じたまちづくりについて視察した。

視察箇所

- 1、 海の駅「なおしま」
- 2、 直島ホール
- 3、 地中美術館

海の駅にある藤本壮介氏が設計した「直島パヴィリオン」と草間彌生氏の「赤かぼちゃ」は観光客に人気があり、視察当日も欧米の外国人観光客が多くいた。

直島ホールは平成27年に建築された延床面積1,272㎡の木造の集会所を兼ね備えた施設であり、ヒノキの大屋根と自然の空気を利用した空調が特徴の施設であり、町民から好評を得ているとの説明があった。

地中美術館はベネッセが運営する平成16年に開設された民間の美術館でクロード・モネ、ジェームズ・タレル、ウォルター・デ・マリアの作品を展示してある。

視察を通じて香川県は「香川せとうちアート観光圏」として総合的な観光振興戦略で観光客の誘致をすすめている印象を強めた。

2日目の講演では総務省の「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について」により、すでに全国で1,689自治体が公共施設等総合管理計画を策定しているが総務省は公共施設の面積の縮小の数値化を求めている、数値化については住民との慎重な議論が求められるという内容だった。

栗山町もすでに公共施設等総合管理計画を策定し、今後20年間で総床面積の20%削減を目指しているが、具体的な個々の施設の縮小については言及していないので、いずれ議論がされる事になる。